

- (8)北海道電子自治体プラットフォーム構想（通称ハーブ構想）の導入による電子自治体の構築を進めるとともに、広報誌のDTP機器を活用した手作りのPRパンフレットづくりを進めていきます。
- (9)町民参加と町民との協働のまちづくりを進めるため、「安平町の未来（あした）を考える会（仮称）」を設置し、町民の町政参加の機会を広く提供していきます。
- (10)町民との協働のまちづくりの手法として、「町づくりマスター制度（仮称）」を職員も対象とした制度として活用していきます。
- (11)身近で親切的な役場とするため、「総合窓口職員」の研修の充実化を図り、総合窓口におけるワンストップサービスの提供を目指していきます。
- (12)男女共同参画社会に向けた「男女平等行動指針」の策定を進めるとともに、女性サミットや女性団体の組織化などを通し、「暮らしやすいまちづくり」の実現を目指していきます。
- (13)環境基本条例に基づく“環境問題取組実践指針”を策定し、リサイクル運動や花壇づくりなどの実践への理解を求めていきます。
- (14)美しい地域づくりのために行う様々な環境美化事業や不法投棄を監視する取組については、ボランティア協力員を中心に展開していきます。
- (15)地域コミュニティのあり方などについて、自治会組織等との協議を行いながら、町内における地域間交流を促進させていきます。
- (16)町の歳入確保を図るため、「公共施設管理基金制度」及び「町民まちづくり寄附条例（仮称）」の制定を目指します。また、その用途については、「まちづくり基本条例（仮称）」との整合性を図ります。
- (17)財政の健全化による住民サービスの充実化を進めるとともに、職員の意識改革で、親切で笑顔に溢れる「働く役場づくり」を目指していきます。

おすびに

私は、合併という苦渋の選択をした複雑な思いを持つ町民のことを考えるとき、新しくスタート



したこの町が本当に一つになって良かったと感じ、安心してもらえるようにしなければならないと思っています。

安平町の良いところを最大限引き出し、一方に偏ることのない公平で公正な、笑顔が溢れ、ぬくもりに満ちた、誰もが快適に安心して暮らせる「まちづくり」、「地域づくり」を進めていくとともに、北海道内における経済動向をみたとき、新千歳空港や苫小牧港と隣接しているという、他に例をみない「安平町の立地特性」を最大限に活かしながら、真の地方自治の原点である「地方主権」を目指し、光り輝く「安平町」となるように、町民及び職員と力を合わせ、共に努力していきたいと思ひます。

最後になりますが、これからの安平町における行財政基盤の確立と働く役場づくりを当面の重要課題としながらも、新町の無限の可能性を地域住民全員で確認し、そして創造しながら、明るい一体感のあるまちづくりの実現に向けて、私はその先頭に立ち、全力を挙げて取り組んでいくことをお誓い申し上げます。

以上、これから4年間の行政運営に臨むに当たり、私の所信の一端につきまして申し上げましたが、あらためて町民の皆さま、そして町議会議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げ、初代安平町長としての町政執行方針といたします。